

教員名	坂本 佳鶴恵 (SAKAMOTO Kazue)
所 属	人間文化研究科比較社会文化学専攻
学 位	社会学修士 (1984 東京大学)
職 名	教授
URL/E-mail	

## ◆研究キーワード

コミュニケーション / アイデンティティ / 社会意識 / 家族 / ジェンダー

## ◆主要業績

総数 (5) 件

- ・『アイデンティティの権力——〈語る／聴く〉主体の成立は可能か』(新曜社、2005) p.327
- ・「メディアが編む国家・世界そして男性——サッカーゲームの言説分析」『言説分析の可能性』(佐藤俊樹・友枝敏雄編) 東信堂 p.89-122
- ・「女性雑誌にみるジェンダー概念の使用法」『日本女性文学大事典・資料編』(市古夏生・管聡子編) 日本図書センター p.367-372

## ◆研究内容

1. 2005年度刊行した著作『アイデンティティの権力』において、バトラー、アルチュセール、カルチュラルスタディーズのアイデンティティ論と社会学のアイデンティティ論との接合をおこない、社会学のアイデンティティ論に権力の視点を導入することを試みた。
2. 携帯電話の会話を、エスノメソドロロジーの手法で分析し、携帯電話特有のコミュニケーションのルールを明らかにし、論文とした。
3. 2002年日本・韓国でおこなわれたワールドカップサッカーをめぐるテレビ・新聞報道の言説分析をし、その成果が論文として出された。
4. 1950年代の女性雑誌の言説分析をおこない、その成果の論文が刊行された。また、女子大学生を対象とし、女性雑誌の読者調査をおこなった。
5. ロボット工学の関係者との議論や、新たな道具の開発を検討することにより、コミュニケーション領域での工学と社会学の共同研究の可能性を探った。この点については、計測自動制御学会で、共同で学会発表(「相互作用と賢さに関する一考察——工学と社会科学の連携」)をおこなった。

## ◆教育内容

学部では、各自のテーマ発表と、インタビュー調査の身近で良質な具体的分析を学ぶことを目的とした。E.ホックシールド『セカンド・シフト』、J.ロバートソンの『踊る帝国主義』を読み、議論をおこなった。大学院では、各自のテーマ発表のほか、院生と話し合っ て決めたテキストを議論した。E.Goffman の Gender Advertisement、Brunsdon らの Feminist Television Criticism、McRobbie の In the Culture Society、Salih の Judith Butler をとりあげた。基礎ゼミでは、社会学の古典である『スティグマの社会学』を読み、質的調査の一端を紹介した。NPOインターンシップでは、全体の運営、広告・宣伝のNPO団体への学生派遣を担当した。このほか、卒論の個人指導・共同指導、修士論文個人指導・共同指導、博士論文審査を担当した。

## ◆Research Pursuits

---

1. I published a book, *Power of Identity* in which I argued how Althusserian and cultural studies' view on identity contribute identity in sociology.
2. Analyzing conversation over mobile phone, I showed a communication rule particular to mobile phone.
3. I published an article on football coverage of World Cup 2002 in Japan.
4. I conducted a survey of readers about Japanese women's magazines.
5. I explored collaboration with robotics on communication theory and appliance.

## ◆共同研究例

---

- ・現代および未来の家族のイメージの提供

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

1. 言説分析、会話分析などの理論的背景となる構築主義について、そのアプローチ、利点と問題などをまとめる。現在執筆中。共同執筆本の一部として発表される予定。
2. サッカー報道の言説分析を海外で学会発表。
3. 工学者との共同研究を、それ自体をコミュニケーション問題として再検討。
4. 女性雑誌の研究について、成果をまとめる。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

現代社会では、さまざまな情報が氾濫しています。いかに情報を集め、その良否を確かめ、自分で考え、自分の言葉で語っていくか。私の授業が、そうしたことを、学んでいける場になればと思っています。

## ◆Educational Pursuits

---

At faculty level, I mainly aimed at teaching quality research especially interviews and discourse analysis. I picked up some books to read: *Second Shift* by Hochschild, *Takarazuka* by Robertson. For freshman, I introduce qualitative approach using *Stigma* by Goffman. At graduate level, I took much time on discussing students' reports written on their own theme. We also read books and articles about gender and culture: *Gender Advertisement* by Goffman, *Feminist Television Criticism* by Brunson, *In the Culture Society* by McRobbie, and *Judith Butler* by Salih.